HONDA

PRESS INFORMATION

＜ご参考＞

＊本田技研工業（株）の米国における生産会社 ホンダ･オブ･アメリカ･マニュファクチュアリングは、現地時間 1999 年 1 月 29 日に以下を発表しましたので、その内容をご案内致します。

1999 年 2 月 1 日
本田技研工業株式会社
広 報 部

ホンダ米国工場、環境マネジメントシステム「ＩＳＯ１４００１」を取得

本田技研工業（株）の米国における生産会社 ホンダ・オブ・アメリカ・マニュファクチュアリング（略称：ＨＡＭ、本社：オハイオ州メアリズビル、社長：平島 凰希（こうき））は、同社の４工場*すべてにおいて、環境マネジメントシステムの国際規格である「ＩＳＯ１４００１」の認証取得を完了したと発表した。

ホンダは、その環境への取組みの一環として、かねてより生産部門における「ＩＳＯ１４００１」の認証取得を進めており、既に日本国内では全拠点が取得を完了、さらに北米、欧州、アジアなど全世界の主要生産拠点での取得も今年３月を目処に完了する見込み。

今回取得を完了したＨＡＭでは、1989 年に同イーストリバティー四輪車工場において、米国自動車業界としては初の水性塗料を採り入れるなど、環境保全活動に対する積極的な取組みを行ってきている。昨年１２月には、同メアリズビル二輪車工場において有害物質発生を大幅に抑える粉体塗料を採用することで、オハイオ州知事より環境保全面での表彰を受けた。

この他にも、メアリズビル四輪車工場（塗装工程）では、揮発性有機化合物回収システムによる大気中への有害物質排出量の削減（年間 305,000 ポンド）が、また、アンナ エンジン工場では、プレス工程で発生した鉄端材のエンジンおよびブレーキ部品への再利用（年間 30,000 トン以上）などが行われている。

*メアリズビル二輪車工場、メアリズビル四輪車工場、イーストリバティー四輪車工場、アンナ エンジン工場